

まいど御手紙頂き

御返事おくれ、

申しわけも御座い

ません。

また先日は御心入れ

の御本頂戴、勿体

なく存じました。

早速

御礼

申すへきを、みんな読まして

頂いてからと考へて

これまた遅延、御わびの外

は御座いません。

遅々乍ら、御礼言

上いたします。

増田君からも承つて

居りました。御地に伺ふ

儀手間どつて御地にあわぬ

事かと案じますか、御示し

の頃か、当方にも御示し

都合がよろしうちようど

ます。土曜日の午後何時

からなりとも、よろしう

御座います。話の時間あまり

間は、まづ、二時間あまり

かゝるものと御考へ、

置き願ひます。御考へ、

「古代における教育」

「古代における教育と

「古代における教育と

こんな題にして頂き

おもひます。たいと

万事は増田君に

まかせて置きました。

御目にかゝつて

申します。いろ／＼

御免下さい

折口信夫

水野大史